



しいば 議会だより

第73号

平成26年2月

発行 宮崎県椎葉村議会
編集 議会だより編集委員会
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字
下福良1762番地1
TEL (0982) 67-3209
FAX (0982) 67-3500
村内無料電話 767-0091

価格アップを願って!

中学1年生しいたけ体験学習

12月定例会 (2)
一般質問 (3~5)

常任委員会等調査 (5~7)
議会の動き (8)

12月定例会

教育委員に中竹栄さん(松尾)

平成25年度一般会計補正予算は、

89,977千円を減額

総額 **50億284万円**

平成25年度 特別会計補正予算額

会計名称	今回補正額(千円)	補正後(千円)
国民健康保険特別会計	5,874	511,098
簡易水道事業特別会計	376	51,254
病院事業特別会計	2,104	502,234
介護保険特別会計	△742	365,104
後期高齢者医療特別会計	315	82,306
ケーブルネットワーク事業特別会計	762	65,226

12月定例会が11日に開会

同意 1件 ・ 教育委員の任命について(中竹栄さん)

承認 1件 ・ 一般会計補正予算(第5号)

議案 16件 ・ 椎葉村地域の元気臨時交付金基金条例の制定についてほか



村長に聞く! ~ 一般質問 ~



岡村正司 議員

質問
1

合併浄化槽の 維持管理費に対する 軽減対策

問

合併浄化槽の設置率が前年度末で55%、約半分で、ここ3年間の設置状況は平均5基程度であり、今後の整備の中期・長期計画についてどのように予定しているか伺う。

維持管理費にかかる経費軽減について、高齢者宅、低所得者宅などを対象に調査検討し、助成をすることが設置率のアップに少なからずつながり、環境保全、衛生管理面からも計画的、重点的に整備の範囲が広がるのではないかと考えるが、対応施策について伺う。

答

村長回答

浄化槽設置は、平成22年度6基、23年度5基、24年度4基、25年度10基設置見込みで、国

の浄化槽設置整備事業補助金の事業計画に基づいて、平成23年から平成27年の5カ年間で、25基を設置する計画で進んでいる。今年度10基は、新規設置者が多く、村単独補助を入れたためである。

第5次長期総合計画で、平成28年度までの浄化槽整備事業を計上し、くみ取り式や単独浄化槽から、合併浄化槽に今後もなお一層の推進を図っていく。

維持管理費の助成は、公共下水道を設置の市町村では、合併浄化槽維持管理費と公共下水道の価格の差をなくすために、補助をしているケースが多い。

高齢者のみの世帯でも課税世帯であったり、高齢者のいない世帯で非課税世帯であったりと、さまざまなケースがあるので、財政事情を勘案しながら検討したい。



河口吉弘 議員

質問
1

平成26年度の 予算編成作業におけ る施策等の見直し

問

① 低額の年金を主たる収入として生活を送っている高齢者、とりわけ、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯への支援

策の必要性について。

② 村有林や分収林などの公有林の管理で、過去に農林漁業金融公庫から多額の借入れを行い公有林整備を行ってきた。借入残高は、平成24年度末で9億円を超えている。木材価格の長期低迷の中、公有林の立木売り払い収入金は、借入金の償還に充当するなど、将来負担の軽減を図るとともに、公有林の管理コストの軽減のための施策の見直しは

③ 平成23年度に整備した上椎葉宮の裏地区の村営墓地20区画は、現在1区画だけの利用で、進んでいない大きな原因として、利用料が高すぎではないか、利用料の見直しが必要ではないか。

答

村長回答

① 国も現在、その施策を検討中で、生活困窮者自立支援制度法が衆議院本会議において可決成立したばかりである。この新制度は、生活困窮者の自立を支援する仕組みで、今後、国の説明を受け、村で対応できる支援策の検討、また、村では、高齢者や障害者の皆さん等を対象にした生活支援策をいろいろな状況に応じて、それぞれ展開している。支援を受ける方がその対象から漏れないように、また状況の変化に応じたさらなる支援策を検討していきたい。

② 公有林の収穫益や県の植栽未栽地対策事業補助金などを原資とする公有林基金を平成21年に設置した。公有林基金から公有林整備事業償還への充当額の確保は困難な状況。立木売り払いによる収穫益を積み立てても、償還額に見合うような収益が見込めない現状で、当面、その他の村債管理基金等で対応していく。

公有林管理のコストの軽減は、国、県の補助対象となる森林施業は制度を活用し、保育施業を実施してきた。補助対象とならない鳥獣害対策や作業道路の整備・補修などは、村単独で、森林組合の作業班に管理作業を委託していたが、平成25年度より2名の嘱託職員を採用し、直営による管理作業に見直し、経費削減と作業の効率化が図られている。

③ 使用料の設定金額は、近隣市町の使用料の積算基礎を参考にして決定している。宮崎市、門川町は造成工事費を基地基数で割り、使用料を決定している。宮崎市南部基地の場合は、1 m²当たり11万4,000円、門川町は、造成年度により異なるが、1 m²当たり7万2,000円から9万900円と設定。

村は、用地費や測量設計費は含まず、造成費のみ890万円で、(20基、1基4㎡)1 m²当たり単価が11万1,250円となったことが高いと思われる原因と思うが、使用料の金額が、住民ニーズに合わず利用拡大の妨げになるなら、今後他の算定基礎をもって使用料の見直しを検討したい。



質問2

がんの早期発見のための検診対象の拡大と助成

問

村では、胃がん、乳がん、子宮がん、大腸がん、肺がん及び前立腺がん検診が実施されている。この5年間のがん検診の結果と平成24年度における受検率、対象者に対して受検者が幾らの受検率となっているか。

肝臓や胆のう、膵臓、その他の部位に発生するがんに対する検診の拡大と一定の費用助成も必要ではないか。取り組んでいる6種のがん検診と子宮頸がんワクチン投与を引き続き積極的に進めるとともに、他のがん種に対する新たな検診の実施についても、26年度の施策として検討すべきではないか。

また、全てのがんに対して行われる腫瘍マーカー検査、一定の要件を満たせば、保険適用が可能なPET、CT検査、検査精度をさらに高めるための検査項目の追加などに取り組む必要があると考えるが村長の考え方は。

答

村長回答

5カ年の受診者は、総合健診、節目健診を含め、胃がん検診は、受診者数2,658人、平成24年度の受診率は49.4%、5年間の検診は、精密検査を経てがんが発見された方はいないが、153人にその他の疾患が見つかった。

大腸がん検診は、受診者数4,359人、24年度の

受診率が68.3%、5年間にがんが発見された方は10人、その他の疾患が161人

乳がん検診は、受診者数1,756人、24年度の受診率59.8%、5年間にがんが発見された方は3人、その他の疾患が10人

子宮がん検診は、受診者数1,419人、24年度の受診率が51.3%、5年間にがんが発見された方はいないが、その他の疾患が6人

肺がん検診は、受診者数1,296人、24年度の受診率49.5%、5年間にがんが発見された方は2人、その他の疾患が46人

前立腺がん検診は、平成22年度に導入したので、3年間の受診者数917人、24年度の受診率が62.2%、がんが発見された方は6人、その他の疾患が35人見つかった。

各がん検診受診率は、全国、県内でも高い水準にあるが、まだまだ検診を受診していない住民も多く、引き続き毎年実施する各種検診を積極的に受けていただきたい。

肝臓や胆のう、膵臓などその他のがんに対する検診については、国が、がん検診の効果を科学的な方法で評価し、公共施策として有効かどうかを検証しながら、検診の指針を示しているところで、PET、CT検診など、新たながん検診技術が出てきているが、検診自体がまだごく一部の医療機関のみでしか実施されていないので、費用も高額となり、医療機関の受診体制としては、住民が広く公平に検診を受診できるまでに整備されていない。行政が行う検診としての有用性がまだ十分ではないと判断している。

また、腫瘍マーカー検査を用いたがん検診は、代表的な腫瘍マーカー項目だけでも十数種類あるようで、それぞれ違う複数種類のがんや疾病に対して反応し、腫瘍マーカーの数値が高いからといって、腫瘍が確実に存在するとも限らず、健康な人でも高い値を示す場合があり、検診としては、通常X線検査やエコー検査など他の検査の補助的なスクリーニング仕様として用いられている。

このことから、肝臓がんや胆のうがん、膵臓がんの一次検診の仕様としては、精度の面でやや不安な面があり、集団検診の項目として、今すぐ検診に導入することは考えていない。

節目健診で行っている人間ドック型の総合健診は、受診者の問診内容と意向に合わせて検査を組み合わせることができ、本人の意向が有効な検査になり得ることから、オプション検査として腫瘍マーカー検査を取り入れることは、今後、検討していくことができる。

今後もPET CT検診や腫瘍マーカー検査に限らず、新たな検診については、常に情報を取り込み、住民、疾病の状況とも鑑みながら、住民検診として必要なものは積極的に取り入れていく。



右田静男 議員

質問
1

自然エネルギーの 資源活用は

問 村としての自然エネルギー活用は、太陽光発電、水力発電、風力発電などが考えられるが、水資源がある本村には、間

柏原発電所よりも小規模な水力発電の可能性がある河川があるのではないかとと思われるが、その利用は考えていないのか。

まきストーブについては、高齢化率が年々高くなり、家で過ごすことが多くなってきた人々にとっても、暖房効果、燃料費高騰の軽減に、豊富な山の資源を活用して低炭素社会にもつながることから、幾らかの助成ができれば、まき利用の暖房を考えている家庭にはさらに利用がしやすいと思われるが考えを伺う。

答

村長回答

地球温暖化対策や有事の際の地域の防災拠点の機能維持の観点から、公共施設に太陽光発電施設の導入を促進し、大河内小学校、尾向小学校、役場庁舎への導入が完了し、今後、松尾小学校への導入を検討している。

討している。

小水力発電は、これまで中山トンネルの湧水や農業用水を活用しての新たな発電所の開設や、企業局、九電の方にもお願いし、若干調査を入れたが、現在の固定価格買取制度をもっても、費用対効果の観点から事業化は困難、間柏原発電所以外には考えられないと判断している。

まきストーブに対する設置補助は、村の財政事情を鑑み、補助事業の新設に当たり、一過性のものとならないように慎重に判断すべきと考える。高齢化で火を使う安全性、価格も3万円から100万円規模など、補助事業の導入が図られている他の自治体の状況等も調査するが、現時点では今のところ考えていない。



椎葉村PTA・家庭教育学級 合同研究大会(11/16)

開発センター

「豊かな心をもち、21世紀を力強く生きる子どもたちを育てるための活動を推進しましょう」を研究主題とし、講演と研究発表が行われた。発表後の協議では、活発な意見が飛び交い家庭・地域・学校が一体となり、子どもたちに、生きる力を身につけさせることの重要性を確認した。

宮崎県森林・林業活性化議員 連盟連絡会議(11/19)

宮崎市

「木質バイオマス利用の可能性と継続可能な森林経営の実現」をテーマに開催し、黒木正一委員長から「森林・林業の再生と人材育成について」の委員会報告があった。森林総合研究所、久保氏、岩手大学、國崎氏によるバイオマス利用についての講演も行われた。





消防団120年・自治体消防制度65周年記念大会(11/25)

東京ドーム

天皇皇后両陛下、安倍総理、衆参両議長、各都道府県から関係者3万8千人が参加し、村から団長ほか各部長も参加して盛大に開催された。菅原文太さんのナレーションで、阪神淡路大震災放映、消防伝統演技、消防実技等、消防音楽隊、AKB48、布施明さん、水前寺清子さんらの消防応援団の激励トークで盛り上がった。

星塚敬愛園訪問(12/18)

鹿児島県鹿屋市

国立ハンセン病療養所星塚敬愛園を訪問し、尾向出身者の椎葉フジエさんと懇談した。椎葉のことを含め色んな話をされ、腰を少々悪くされていましたが、元気でしっかりしたおばあちゃんでした。訪問に来た方には、必ず氏名とメッセージを書いてもらっているとノートを渡され、一言載せて頂きました。また、同じく入所者の自治会副会長からハンセン病とのかかわりを、最初から現在に至るまでの講話も聞くことができた。今回の訪問を通じて、一度や二度の訪問でなく、継続的な結びつきこそが信頼関係をつくると感じた。



議員研修会(12/19)

西米良村

自立自走の集落経営を目指し、自らの活動で得た収益の一部を景観づくり事業(花見山)など、地域の活性化に取り組んでいる「おがわ作小屋」や家畜改良事業団の「種雄牛センター」を視察した。

「おがわ作小屋」の運営は、平均年齢65歳以上の集落のおばちゃん達を中心となって、集落内で生産された季節ごとの食材を16枚の小皿にちりばめた「おがわ四季御前」を提供するなど、県内外からの好評を得ている。地域の特性・資源を活用した取り組みは、少子高齢化が進む山村において、交流と所得の向上、集落内の「絆」を強めるなど、大きな自信と誇りになっており、若者の定住にも大きな役割を果たしている。

「種雄牛センター」は、口蹄疫の教訓から種雄牛管理のリスク分散を目的に建設、平成25年5月から施設外部、内部の厳重な衛生管理のもとに20頭の種雄牛を飼養管理している。



子牛初セリ 延岡家畜市場(1/25)



子牛価格の高値取引が続く！

平均価格が535,698円(雌495,692円・去勢567,527円)と高値で取引された。昨年の11月セリ市平均価格が530,106円(雌487,387円、去勢573,230円)となっており、飼養頭数の減少を要因とした高値取引が続いている。

参考で、平成25年1月は471,403円

平成24年2月は450,721円

乾しいたけ初入札会(1/27)

日向市経済連椎茸流通センター

椎葉村から179ケースが出品され、28日の入札会では平均単価2,177円で取引された。昨年の1月は248ケース、平均単価2,282円で取引され、長引く価格低迷は、椎茸からセシウムが検出されるなど、学校給食をはじめとする消費低迷の影響とされているが、価格回復のために国をはじめとする関係機関の一刻も早い対策を求めている必要がある。価格低迷は生産意欲の減退や生産者の減少など、椎茸産業に及ぼす大きな影響が心配される。



宮崎北部森林管理署・住友林業に要望(1/31)

日向市

産業福祉常任委員会及び尾向公民館は、宮崎北部森林管理署に対し「国有林内の森林整備の推進」及び「国有林内の治山事業等の推進、人工林の間伐、自然林への転換など、災害に強い山づくり」に取り組むよう合同で要望した。

鹿の駆除については、国有林内作業員の安全確保や事故防止対策をとるなど、引き続き協力を惜しまないなどの考えが示された。また、尾向公民館から登山愛好者の利便性を図るための門割林道の整備、ヤマメ保護のためのイワナ駆除の方策について改めて要望が行われた。

また、住友林業日向山林事業所にも「社有林内の森林整備の推進」について要望した。



議会の動き

11月	5日	国道327号整備促進期成同盟会要望活動	宮崎市
	6日	宮崎県文化賞授与式	宮崎市
	7日	東九州自動車道中央提言	東京都
	8-10日	平家まつり	上椎葉
	11日	地方議会活性化シンポジウム2013	東京都
	12日	日向東臼杵南部広域連合議会運営委員会	日向市
	12-13日	第56回町村議会議長全国大会	東京都
	14-15日	東臼杵郡議長会政務調査	秋田県
	15日	国道265号線改良整備促進期成同盟会総会・要望活動	宮崎市
	16日	村PTA・家庭教育学級合同研究大会	開発センター
	18日	日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会議員研修会 ひむかしの塔慰霊祭	日向市 沖縄県
	19日	宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議	宮崎市
	21日	宮崎県幹部議員研修会	宮崎市
	25日	消防団120年・自治体消防制度65周年記念大会	東京都
	25-26日	例月監査	監査委員室
	26日	議会広報研修会	宮崎市
		日向東臼杵南部広域連合議会	日向市
	28日	宮崎県町村議会議長会役員会	役場会議室
12月	2日	入郷地区衛生組合議会	美郷町
	6日	議会運営委員会	委員会室
	11日	12月議会定例会	議場
	13日	病院運営協議会	役場会議室
	18日	星塚敬愛園訪問 東臼杵郡臨時議長会	鹿屋市 郡町村会
	19日	議員研修会	西米良村・綾町
	20日	都市計画審議会	宮崎市
	25-26日	例月監査	監査委員室
1月	4日	椎葉村成人式	開発センター
	6日	椎葉村消防出初式	椎葉小グラウンド
	7日	新春交通安全の集い	宮崎市
	10日	新春賀詞交歓会	開発センター
	12日	第4回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会開会式	宮崎市
	17日	宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議 第1回委員会	宮崎市
	22日	九州各県町村議会議長会協議会	鹿児島市
	23-24日	例月監査	監査委員室
	25日	子牛初セリ市	延岡市
	27日	乾しいたけ初入札会 東九州新幹線鉄道建設促進期成会特別講演会	日向市 宮崎市
	29日	時局講演会	綾町
	31日	住友林業・北部森林管理署へ尾向公民館と合同要望活動	日向市

議会を傍聴しませんか？

**3月定例会は、3月11日開会予定と
なっています。**

《お問い合わせは議会事務局》

TEL 67-3209 FAX 67-3500

議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。

編集後記

立春をすぎポカポカ陽気の春が待ち遠しいこの頃です。

基幹産業である椎茸栽培の作業が、本格的に始まる季節でもある。長期低迷が続けている椎茸産業にも、暖かい春が1日も早くやって来る事を心より願うものである。

今後も、より読みやすい議会だよりになるよう努めます。ご意見をお聞かせ下さい。

右田 静男